

大学の世界展開力強化事業 H26取組概要 関西学院大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」

【プログラムの目的・養成する人材像】

豊かな国際コミュニケーション能力、論理的・実践的な分析力、国際的な場での高度な課題発見・解決能力、行動力およびリーダーシップを備え、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与する「世界市民リーダーズ」を養成する。

【構想の概要】

本学とカナダの3協定大学(マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)が連携し、両国の学生が日加を行き来しながらともに学ぶ学士レベルの共同教育プログラム「Cross-Cultural College (CCC)」を設置・運営する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ アドバイザリー・ボード会議に高等教育質保証の専門家を新たに招聘

社会ニーズを迅速かつ的確にCCCに反映すべく、産業界中心のメンバー構成で開催してきたアドバイザリーボード会議に、高等教育質保証の専門家である大学教授を、26年度より新たな委員として招聘。アカデミックな観点からも専門的なアドバイスを得ることにより、より質保証を意識した事業運営を行える状態を整えた。

■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈日加学生協働学習の様子(GCSinCanada)〉



○ Global Internship, Global Career Seminar 初のカナダ開催

トロント大学、日系・現地企業(団体)のご協力の下、構想調書記載通り、上記2科目のカナダ開催を実現した。プログラム運営においては、トロント大学教員と本学教員が協働し、学生指導に当たった。本学学生は、多国籍な環境でのインターンシップを通じて、多民族国家であるカナダの文化を肌で感じ、大変有意義な経験が出来たとコメントしている。また、この2科目については、昨年度までと同様、日本でも開催した。参加学生の一人は「カナダ学生との協働を経験し、効率的かつ論理的に課題に取り組むことの重要性を再認識した」と話しており、CCCプログラムを通じて、実践的な学びを得られたことが分かる。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

上記カナダ開催プログラムのため、トロント大学に学生を派遣した他、CCC参加学生でCross-Cultural Workshop(カナダ・クイーンズ大学で開催)、外国語研修、中期留学、交換留学等に派遣した学生も含めた総派遣者数は124名であり、構想調書時に設定した目標値99名を大きく上回る実績を上げた。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	8	27	69	124	105
学生の受入	0	50	62	50	45

注)H23～H26は実績、H27は計画。

○ 外国人留学生の受入れ

Asian Studies Summer School, Global Internship, Global Career Seminarにて、カナダ3大学(マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)から合計50名の留学生を受け入れており、構想調書時に設定した目標値45名を上回る実績を上げた。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ カナダ・トロントリエゾンオフィスの活用(派遣)と国際寮の建設(受入)

本学のトロントリエゾンオフィスに駐在しているスタッフが、カナダ開催のCCCプログラムの調整業務に加え、現地学生への来日のための情報提供および留学中の本学学生のトラブル対応等のサポートを行っている。また学内においては、国際寮の建設が進んでおり、民間宿舎より安価であり参加費を抑えることができるため、受入数増が期待できる。

○ CCC教員による各種ワークショップの実施

“Public Speaking”や“Leadership”というテーマで、本学学生の能力開発を行っている。英語を教えるという視点ではなく、学生の持つ英語力をいかに実践の場で使えるように引き上げるかに焦点を置いており、カナダ学生との協働が必要となるGlobal InternshipやGlobal Career Seminar参加時(特にカナダ派遣時)のパフォーマンス向上を目指している。

〈ワークショップの様子〉



■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況、情報の公開・成果の普及

○ 企業関係者向け公開フォーラムの開催

CCCを広く産業界に浸透させ、さらに今後の産学連携の可能性を議論すべく、初めて企業向けに公開フォーラムを開催。参加者からは「真の国際人の育成が期待される」「実践的で効果的なプログラムであると感じた」「学生にとって大きく成長できる取組だと感じた」などのコメントを頂いたことから、CCCの重要性を認識していただくことが出来た。

○ CCC Promotion Video等を利用した戦略的な広報活動

27年度の取組として、過去の参加者の声や写真をもとにプロモーションビデオを作成。内容がわかりづらいと指摘されていたJoint Seminar, Global Career Seminarの可視化を試みた。また、CCC参加者の就職先が特徴的である点に着目し、『CCCと就職』という切り口で、学生のニーズに合致するプログラムであるということを訴求。本学キャリアセンターや企業の協力を得て、パンフレットやチラシを作成し、本学内でのCCC認知度向上と成果の普及を図った。

【CCC Promotion Video】 <https://www.youtube.com/playlist?list=PLpANqLjIHajPtBd5ULzODb9HpHOBm5a>